

第58回BCP維持管理研究会 議事録

1. 日時: 2015年10月28日(水)15:00-18:00

2. 場所: BCAO神田オフィス

3. 出席者(敬称略) 16名

田中、小田、國貞、清水、守護、高桑、高橋、半田、平川、森、山下、柳谷、中谷(書記)

ゲスト参加: 近藤、春日、手塚

4. 内容

(1) 訓練・演習のポイント説明 ~中谷(詳細はアジェンダ記載)

- ・目的を明確にして、範囲を決め、シナリオを策定し、訓練形式を決める。
誰に、どんな力量・知識を取得させるのか、何を期待するのかなど目的の明確化
演習シナリオを検討する上で重要なのが、原因事象と結果事象の違いを明確にする
- ・緊急事態発生時の課題
体制が不明確で、本部運営が出来ていない。
必要とする情報が入らない。意思決定が遅くなっている。
対応に追われ、後手に回っている。(その場しのぎの対応になっている。)

(2) 演習(DIG)体験実施

ファシリテータ: 高桑さん アシスタント: 中谷

従来型の訓練(対策本部員中心・事前に入念な準備が必要)に比べ、より気軽に誰でも参加できる訓練の実施を試行した。

(発災直後)(発災後1~2時間)(発災後24時間)の3段階に分けて実施した。

各グループが被災インシデントを箱内から取り出し、そのインシデントに対して個々の行動・対応を検討し、緊急時にやるべきことを習得する。

<感想>

① 訓練内容

- ・実際のシーンで必然的な偶然性が体験でき、思っていたより効果的だと感じた。
- ・状況がイメージし易かった。ただ同じようなインシデントが偏らないように工夫する必要がある。
- ・何が発声するか分からないので、その都度頭をめぐらす事ができ良い遣り方である。
- ・良い意味でゲーム感覚であり、シナリオが変化に富み、楽しく学ぶことができた。(議論は真剣)
- ・インシデントを自分で選ぶ手軽さが、自社で実施する訓練に活用できそうである。
- ・他グループでの発表を聞き、自分達が漏れていることが分かり、大変勉強になった。

② 課題

- ・ストーリーを立て、くじ引きのタイミング(安否・被害確認の結果)で引かせる方が良い。
- ・同じようなインシデントが集中しないように工夫すると良い。
- ・自分達でインシデントを作らせた後、くじ引き訓練にすると更に良くなると思う。
- ・今後は製造業の訓練も検討して欲しい。

②総括

全体的に大変好評を頂いた。(アンケート結果より)

さまざまな企業のさまざまなスキル取得の受講者であったが、各グループ内にスキル取得者の方が、うまくリードして頂き、スムーズな訓練できたと考えます。

また、ファシリテータは今回初めて経験され、訓練者に多少迷惑をかけたこともあるが、大変良い経験となった。自社では是非推進したいとのことであった。

今後は、研究会メンバー全員が交代でファシリテータを経験して貰うことを検討したい。

今後も定期的にDIGを中心とした訓練を推進していく。

5. 次回開催

11月19日 神田オフィス

噴火災害に関する演習(ファシリテータ高橋さん)

以上